

Håfa Adai

グアム日本人学校（全日制）学校だより

平成28（2016）年10月28日

校長 福澤 諭

日本人学校校長研究協議会から

中国の杭州で「第40回東アジア・大洋州地区日本人学校校長研究協議会」が行われました。この、東アジア・大洋州地区には文科省が認定している日本人学校が39校あります。児童・生徒数16名の小規模学校から2703名の大規模校まであり、それぞれの国や学校が置かれている地域によって生活の条件は様々です。

校庭にコブラが出没する学校や薬物中毒者が塀を乗り越え進入しようとした学校、大気汚染を常に気にしている学校、周辺に銃や機関銃を持った警備の人がいる学校などグアムとの違いに驚きました。校門の所で警備員（保安員）さんが来校者をチェックする学校がほとんどでした。24時間体制の学校も多くあります。保護者でも学校が出している証明書を持っていないと入れない厳重さです。

本校では、防犯カメラを寄贈していただき増設しましたがまだまだ十分とは言えません。園児・児童・生徒が登校してからはゲートを閉め事務室へ入るドア1カ所から出入りをしています。保護者の皆様にはお手数ですが、校舎内にご用がある場合は事務室で声をかけていただき、来校者名簿に記名をしていただきたいと思います。安全対策として子ども達の安全第一を考え取り組んで参りますので、ご理解をお願いいたします。

兵庫県立川西明峰高等学校から 寄付 \$ 776.98

修学旅行で毎年グアムを訪れている川西明峰高等学校の2年生が、マイクロネシアモールのセンターコートでチャリティーバザーを実施しました。（25日・27日）

一般の人たちを対象に、浴衣の着付けや折り紙、習字など日本の文化を紹介しながら一生懸命に販売する姿が印象的でした。

PMTさんのご紹介で、今回の収益をグアム日本人学校に寄付していただくことになりました。2班に分かれ実施した結果、\$ 776.98の寄付をいただきました。

ありがとうございました。



↑ 折り紙

— 浴衣の着付け



生徒の代表から寄付をいただきました